

プレス発表資料

平成25年7月31日
独立行政法人 防災科学技術研究所

日本海溝海底地震津波観測網の海底ケーブル陸揚げ 作業一般見学会を茨城県鹿嶋市で実施

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長:岡田義光)は、平成23年度から、文部科学省地球観測システム研究開発費補助金による「日本海溝海底地震津波観測網の整備」事業を実施しています。(参考1)

これまで光ケーブルと一体となった地震計と津波計の観測装置の開発・試験・製造及び海底の敷設ルートの調査・調整を進めてきており、これらの準備が整ったことから、房総沖での敷設工事を開始しました。

8月6日に茨城県鹿嶋市で海底ケーブル陸揚げ作業(参考2)を実施するため、現地での一般見学会(参考3)を行います。

1. 日時:平成25年8月6日(火)10時~12時
※プレスからのご質問もこの時間に受付けます。
2. 場所:茨城県鹿嶋市大字明石680-14の先(7番ヘッドランド付近)
3. 対象:地域住民、プレス等興味のある方ならどなたでも参加可能です。
4. 本件配布先:文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会
茨城県政記者クラブ、鹿島記者クラブ

※悪天候等のため、実施日時が変更される場合があります。

【全般に関する連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
アウトリーチ・国際研究推進センター
アウトリーチグループ
三好、大石
電話:029-863-7768
FAX:029-851-1622

【事業内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所
地震・火山防災研究ユニット
海底地震津波観測網整備推進室長
金沢 敏彦
電話:029-863-7524
FAX:029-863-7894

(参考1)

日本海溝海底地震津波観測網とは

1. はじめに
独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光、以下、防災科研）は、平成23年度から文部科学省地球観測システム研究開発費補助金による「日本海溝海底地震津波観測網の整備」事業により、東北地方の日本海溝・千島海溝南部に沿ってケーブル式地震計・津波計から成る観測点を高密度に配備し、リアルタイムの連続観測を行う海底地震津波観測網の整備事業を実施しています（平成24年3月プレス発表資料、http://www.bosai.go.jp/press/2011/pdf/20120329_01.pdf）。

2. 観測網の概要
観測網は観測装置と海底ケーブル及び陸揚げ局（地上局）から成り、太平洋沖の5つの海域（①房総沖②茨城・福島沖③宮城・岩手沖④三陸沖北部⑤釧路・青森沖）と日本海溝の⑥海溝軸外側（アウターライズ）の計6海域の150カ所に観測点を順次整備予定です（図1）。

観測装置は地震計（速度計、加速度計）と津波計（水圧計）等で構成され、水深8000mまで設置可能な耐圧容器に収納されます（図2）。

各観測点のデータは光ファイバー海底ケーブルで2つの陸揚げ局（地上局）に双方向伝送され、さらに陸揚げ局から地上通信回線網でデータセンター（防災科研、気象庁等関係機関）に送信されます。

これにより、地震と津波のリアルタイム・連続観測・監視に役立てられ、海溝型地震と津波を直接検知することができ、精度の高い迅速な津波警報や地震速報の高度化に貢献します。

図1 日本海溝海底地震津波観測網

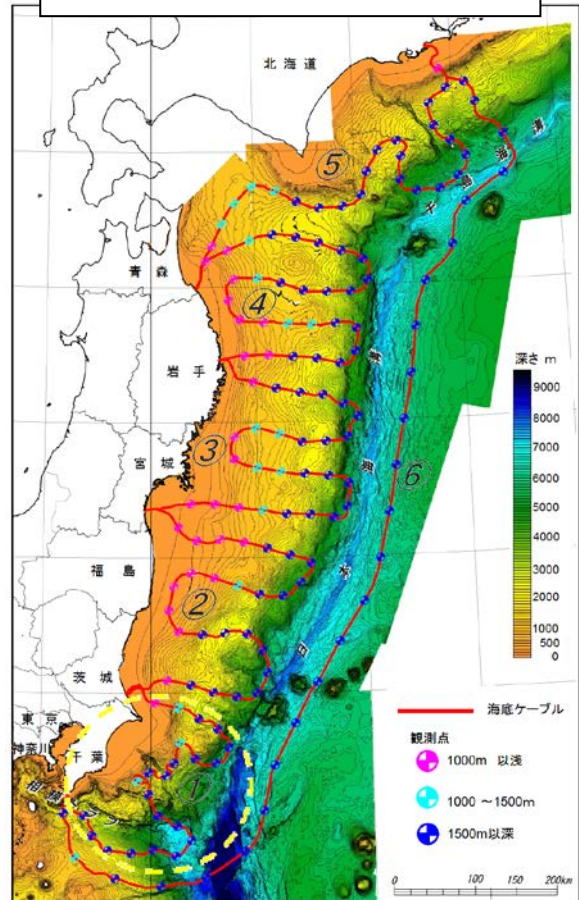
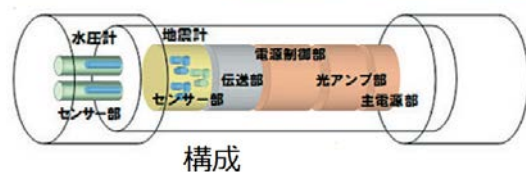
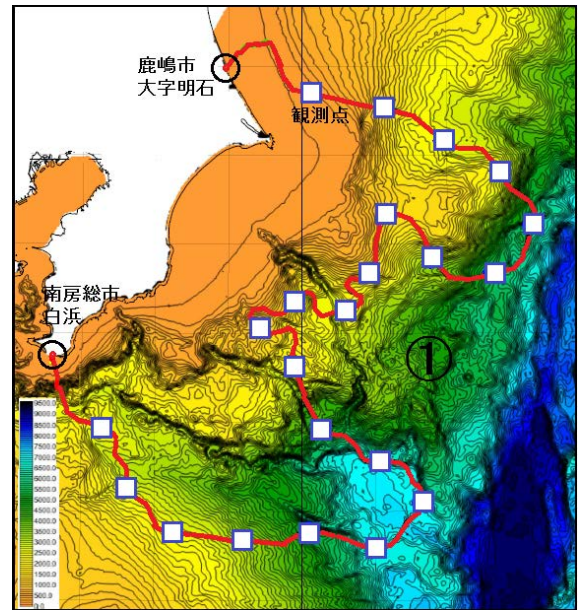


図2 観測装置の外観と構成



房総沖のケーブルと観測装置の敷設工事は、7月上旬に千葉県南房総市白浜のケーブル陸揚げ作業を行い、引き続き8月6日に茨城県鹿嶋市大字明石の海岸でケーブル陸揚げ作業を実施します（図3）。

図3 房総沖の海底ケーブル（赤線）と観測点（□）の敷設予定位置（今回は、鹿嶋市大字明石へのケーブル陸揚げ作業。南房総市白浜への陸揚げ作業は7月9日に実施済）。工事が完了すると観測データは2つの陸揚げ局（○）に伝送される。



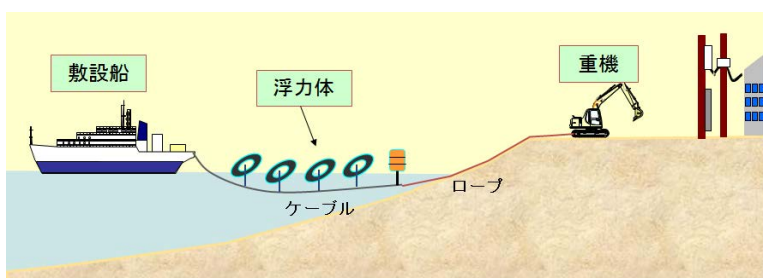
3. 今後の予定

- | | |
|---------|--|
| 平成25年9月 | ①房総沖での海底ケーブル敷設工事完了 |
| 平成25年 | ②茨城・福島沖、③宮城・岩手沖、④三陸沖北部において
順次ケーブル敷設 |
| 平成26年 | ⑤釧路・青森沖、⑥海溝軸外側において順次ケーブル敷設 |
| 平成27年 | 本格運用 |

(参考2)

海底ケーブルの陸揚げ作業について

今回のケーブル陸揚げ作業は敷設船「すばる」を使用します(総トン数9,557トン、全長124m)。敷設船を沖合に固定しケーブル末端を繰り出し、陸のロープと接続し、浮力体(ブイ)を付けたケーブルを重機により引込み陸揚げします(以下の工程参照)。



○陸揚げ日の詳細工程 (天候等により変更されることがあります)

05:00~06:30 気象判断・ミーティング・船固(微修正)開始

07:30 船固終了・陸揚げ開始

ケーブル先端汀着(10:00前後の予定)

ビーチマンホール必要長確保・仮ストッパー取付

ダイバーによるルート修正開始

試験準備(口出・コード接続)

12:00 陸揚げ後試験

14:00 ルート修正終了

15:00 船固解除・敷設開始

(工事の都合上、敷設船「すばる」は、8月4日に沖合で作業実施、8月5日に鹿島港へ寄港します)

(参考3)

海底ケーブル陸揚げ作業一般見学会

1. 日時：平成25年8月6日（火）10時～12時
腕章を付けた説明員が待機していますのでお声掛けください。
プレスからのご質問もこの時間に受付けます。
2. 作業場所：茨城県鹿嶋市大字明石 680-14 の先（7番ヘッドランド付近）
3. 対象：地域住民、プレス等興味のある方ならどなたでも参加可能です。事前登録・参加費等は必要ありません。
4. 交通：
 - ・電車 JR 鹿島線 鹿島神宮駅下車 車後タクシー20分
 - ・高速バス 東京駅～鹿島神宮駅下車（約2時間）、タクシー20分
 - ・自動車 東関東自動車道－潮来 IC－国道51号線鹿嶋バイパス－スタジアム北交差点を東へ－県道255号交差点（地図信号1）から約5分

5. 地図



工事現場： 茨城県鹿嶋市大字明石 680-14 の先（7番ヘッドランド付近）



駐車スペース (1) 10～15台
(2) 約5台

